

生物農薬（バイオトラスト水和剤）によるイチゴ炭疽病の防除

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

イチゴ炭疽病に対する新しい生物農薬として、バイオトラスト水和剤の実用性について検討した結果、バイオトラスト水和剤のみの防除体系及び、バイオトラスト水和剤と化学農薬を組み合わせた防除体系は、化学農薬のみの防除体系とほぼ同等の防除効果が認められたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 生物農薬のバイオトラスト水和剤は、イチゴ炭疽病に対し単剤体系及び化学農薬との組合せ体系とも、化学農薬のみの体系とほぼ同程度の防除効果がある。

薬剤名 タラロマイセス フラバス水和剤（商品名：バイオトラスト水和剤）

- a 有効成分：タラロマイセス フラバス孢子
- b 物理的・化学的性状：類白色水和性粉末 100 µm以下
- c 毒性：普通物

使用方法

- a 使用時期：親株床，育苗期
- b 使用濃度：1,000倍
- c 使用方法：散布

3 利活用の留意点

- 1) 殺菌剤，ランネート45水和剤との混用はしない。また以下の展着剤の加用は避ける。
ニーズ，ミックスパワー，ダイコート，アグラール
- 2) 他の殺菌剤を使用する場合は十分に散布間隔（3～7日）をあける。
- 3) 治療効果はほとんど期待できないので，予防防除として散布する。
- 4) 有効成分であるタラロマイセス菌の定着を高めるため，夕刻か曇雨天時に散布を行い，ハウスでは散布後に出入り口などを閉め切る。また，7日間隔で2回以上散布することにより定着率がさらに高くなる。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

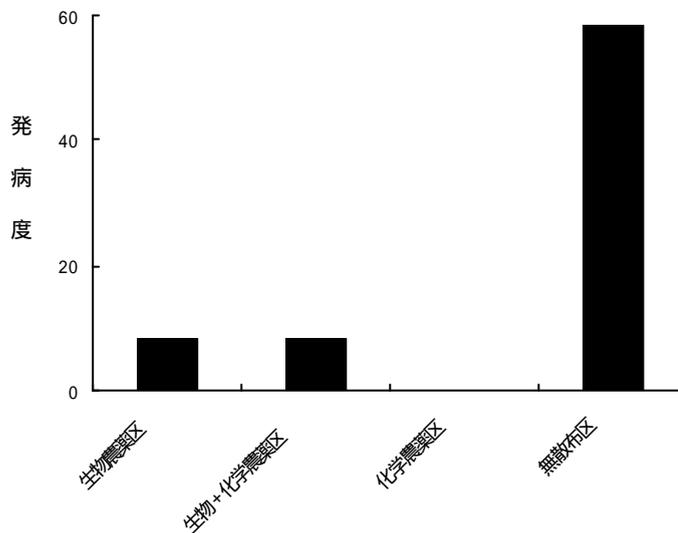
生物農薬を利用したイチゴ病害防除技術の開発 平成10～13年度

2) 参考データ

各区の防除体系

生物農薬区	T F × 4回
生物 + 化学農薬区	T F + ゲッター + T F + アミスター20
化学農薬区	アントラコール + ゲッター + アントラコール + アミスター20

T F = *Talaromyces flavus* (タラロマイセス フラバス)



生物農薬のイチゴ炭疽病防除効果

3) 発表論文等

なし

本剤の価格は100gで1,880円前後

包装単位は100g入り袋1種類